

第25回 徳島県芸術祭主催公演

第24回

邦楽大会

■とき／平成3年10月13日(日) 12時30分開演 ■ところ／徳島県郷土文化会館 主催 徳島県邦楽協会・徳島新聞社・徳島県芸術祭執行委員会

ごあいさつ



徳島県邦楽協会会長

春 名 完 二

第二十五回県芸術祭主催公演、邦楽大会はここに第二十四回を迎えることになりました。邦楽大会は邦楽協会が設立されて以来、協会の一つの大きい事業として共に歩んで来ました。今年から新しく端唄・俗曲部門が加盟し十一部門となり大会を彩ることになり、また昨年度より役員的人员も一新し、協会の運営を、より更に刷新いたしました。従いまして大会の内容も将来はすこしづつ変わってゆくものと思われまします。来年度が恰度、大会の大きい節目になるので、大いに期待していただけるのではないでしようか。

秋は県芸術祭の催しが多彩に繰り広げられており、何かと御多忙とは存じますが、是非御来場を賜り御指導御鞭撻下されば幸いと存じます。何卒よろしく御願ひ申し上げます。

平成三年十月

祝 辞



徳島県芸術祭執行委員会会長
徳島県教育委員会教育長

近 藤 通 弘

第二十五回徳島県芸術祭主催公演として、さわやかなこの季節に県邦楽大会が開催されますことを心からお喜び申しあげます。

邦楽の普及発展と新しい世代への伝承を目的として、県邦楽協会の発足以来、皆様方には邦楽演奏を通して、本県芸術文化の発展に格別の御尽力を賜っておりますことに衷心より敬意と謝意を表する次第であります。

御承知のように日本古来の芸術の中でも、とりわけ私たちの先人に愛され親しまれてきた邦楽はわが国独特の精神文化の高揚に大きく貢献してまいりました。

特に近年、やすらぎ、潤いといった心の豊かさを求める気運が一層の高まりをみせております。

これは、目覚ましく発展する現代社会にあって、古き良きものの中に受け継がれる国民性の原点といったものを見直そうという動きでもありましょう。

こうした中で各流派の方々が、日ごろ鍛錬された格調高い芸を披露されますことは、邦楽愛好者をはじめ、伝統芸術に関心をもつ多くの県民の喜びでもあります。

さらにこの大会が次の世代をになう若い人たちの大きな心の糧となり、本県邦楽協会の今後の御発展につながりますことを祈念いたしますとともに、県の芸術文化振興のためにいっそうの御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

平成三年十月

1

謡曲 (喜多流喜陽会)

舞囃子

天鼓

シテ元木健二
大鼓狩野直喜
小鼓藤本多慶子
笛中野広二

地頭
地謡

天野義雄
鎌村幸博
新居久
木下徹
播磨治
佐野弘実
吉田文明
板東文夫
九鬼淳二
日下芳明
棚橋芳子
小野蓉子
八木シメ子

2

三

曲 (宮城流内田社中)

宮田耕八朗作曲

三重奏曲第二番

海の青さに

箏
十七絃
尺八
内田道子
田村知美
山上明山

司会
NHK
恩蔵憲一

3

義太夫

(阿波人形浄瑠璃振興会)

生写朝顔話

大井川の段

太夫 山田 光玉

三味線 竹本 幸恵

人形(城北座)

深雪 森田 悦子

速水 玲子

桜井 和代

川越し

片岡 直行

4

三

曲

(上田流尺八道竹龍会)

古典本曲

虚空鈴慕

尺八

松田 秀翠

野々宮 秀月

野田 秀彩

近藤 秀心

沖野 秀峰

近藤 秀悦

日開 秀眼

5

三

曲

(菊井箏楽社・菊香華社中)

菊井松音 作曲

ゆかりの調

箏本手 菊香華 堯子

小林 薫子

清重 千恵

箏替手 菊 縞 京香

松英 佳子

北 恵美子

尺八

日開 秀眼

沖野 秀峰

近藤 秀悦

野々宮 秀月

6 長

唄 (かりがね会)

杵屋 正治郎 作曲

岸の柳

三味線

川上	谷崎	松永	山城	タテ
静子	ツヤ子	和三登	照夫	

唄

松永	松永	松永	松永
和登香	和登倭	和登幾	和登世

7 三

曲 (葉風会)

沢井 忠夫 作曲

螺鈿

(ラデン)

第一箏

澤田	武岡	笹川	桑野	北島	澤田
青葉	黄葉	由美子	公葉	浩葉	貴葉

十七絃

澤田 峰葉

第二箏

8 三

曲

(財団法人日本当道音楽会徳島県支部榎原社中)

榎山 大檢校 作曲

新鶴の巣籠り

箏

榎原	蔵本	鈴木	笹内	鈴木
春子	靖子	千恵美	華美	美

尺八

林	近藤	野田	松田
秀	秀	秀	秀
懂	心	彩	翠

9

筑前琵琶 (旭城会)

三世橘旭翁 作詞作曲

秋風故郷山

工藤旭城

10

三

曲 (徳島宮城会)

坂本 勉 作曲

東洋風な幻想曲

箏

多田君子

宇山嘉代子

佐藤啓子

吉田雅美

佐々木栄子

十七絃

11

吟

詠 (吟詠鶯風流)

丘 灯至夫 作

日本を愛す

吟

林 淙鶯

貝出睦鶯

中野吟鶯

小坂聡鶯

歛田欣鶯

西田幽鶯

尺八

市原善風

箏 浜本富子

12

吟

桜 詩

花 舞 詠

の 詞 (揚心流日本朗詠会)
(作者不詳)

舞

河野 揚 絢
上野 揚 伯
石田 揚 春
近藤 華 修
横田 華 昭

13

長

越

唄

後

獅子 (みなじ会)

唄

三味線

浅香 寿 穂
橘 公
内田 英 明
松永 和三 治
桑原 十 工
片山 千 鶴 子
長尾 久 子
稀音家四郎美佐

構成吟 (振付構成 宮岡和光)
河野天籟作

大楠公

ナレーター

宮岡和光

吟

有地翠山
岡崎雄山

剣

泉耕山

舞

九十九和玉
高田和婉
福池和穂
播磨和風
楠磨和香
前田和爽
膳棚和佳

岡崎和祥
井手良子
吉川倫代
大高栄子
三好千代
藤田陽子
木寺和子
山下ミヤ子
有地恵子
三田村治子
曾根美恵子
別所文恵
井上秀美

秋の曲

吉沢検校作曲
松坂検校増補

尺八

大西晴一二
笠井鳴風
桜井晴眉
井上晴調
西岡漱風

箏

井内久美子
近藤景子
川真田英子
山上朋代
宮城恵美

16

琵琶

琵琶

(錦心流琵琶飲水会)

須田春園 作詞
永田錦心 作曲

五条橋

弁慶 内田華水
牛若丸 山中祥水

17

三

曲

(日本当道音楽会田中社中)

野村正峰 作曲
編曲長唄

老松

第一筆 仁木古都風
第二筆 吉崎夕華
三絃 田中古都夕
唄 稀音家四郎五郎
小鼓 望月太意佳

18

吟

詠

(大和陽心流瑞城会)

楠公を詠ず

劍舞 日柳燕石 作

久野佳淳
山口佳朝
山田大覚

劍舞 秋月性作

將に東遊せんとして壁に題す

吉田哲城
吉田郁城
吉田浚城
福家征城

春の海

宮城道雄作曲
(菊井箏樂社・菊至美会)

尺琴
八
浜 菊
井 至
弘 美
保 桂
子

春簾雨窓

詩 舞 頼 鴨 厓 作

吟 舞
松 木 長 高
崎 村 木 島
大 佳 佳 佳
圓 貞 孝 幽

偶成

劍 舞 大 鳥 圭 介 作

吟 舞
細 三 元
井 沢 木
大 武 煌
岳 城 城

花朝澱江を下る

詩 舞 藤 井 竹 外 作

吟 舞
椎 出 立 森
野 口 道
瑞 佳 佳 佳
扇 惠 經 嵐

坂本勉編曲

元禄花見踊

尺八

田村勇山 原郷恵山 山川雄山 酒井雄山 中川悠山 垣本城山 吉岡展山 鈴江湧山 山羽明山 天羽風山 久東聳山 吉岡萃山 赤尾明山 大久保明山 原郷恵山 原郷祥

第一箏

山田笑子
林久美子

第二箏

河野美紀
河原尚己
市原己
鬼田晴代
岡西恵巳
八田雅子
杉本和美

三絃

内田道子
岡田純子
須見春恵
須見美喜代
広瀬美喜代

十七絃

田村知美
田上朋代
山上

鼓

藤井幸子

徳島県邦楽協会役員

(五十音順)

役職名	氏名	所属団体名	連絡先	電話
顧問	石川良彦	四国放送社長 徳島市中徳島町三丁目	二三一二二二	
井端好美	徳島新聞社社長	中徳島町二丁目	二三一二二二	
近藤通弘	県教育委員会教育長	万代町一丁目	二二一三二二	
河合英一	阿波銀行会長	西船場町二丁目二四一	二三一三二二	
長野元則	郷土文化会館館長	藍場町二丁目	二三一八二二	
前田久夫	NHK徳島放送局長	南前川町二丁目四	二六九五九七〇	
會長	春名完二	長唄みなじ会	五二二五三八	
副會長	安芸武雄	県教育委員会文化課長	二一三二六〇	
天野義雄	喜多流喜陽会	鳴門市撫養町斎田字岩崎九九	八六〇〇三三八	
杵屋佐篠	佐苗会	徳島市山城町東浜傍示五二二八	二二五六八八	
沢田青葉	徳島流尺八楽会	富田橋四丁目五六	五三一一五五〇	
西岡黎山	徳島県支部	南新町一丁目	五三一九八一	
野崎瑞鳳	瑞鳳流日本吟詠会	一番町一丁目	二二一二七七	
浅香山穂	長唄みなじ会	中吉野町三丁目七六一三	二二一六三八九	
井上育憲	県教育委員会文化課	万代町一丁目	二一三二六〇	
内田華水	欽水流吟詠会 錦心流琵琶水会	末広四丁目五二四一	二二一〇五一三	
大櫛亜童	尺八琴古流竹友会	寺島本町東三丁目	五二一九〇五六	
小笠原悠二	県教育委員会文化課	万代町一丁目	二一三二六〇	
河野宗心	岳芯流吟詠会	八万町夷山二七一	六八二四六七	
檉原春箏	日本当道音楽会	小松島市堀川町二二三五〇	小松島二一〇九五	
杵屋弥代弘	弥藤会	徳島市東出来島町二丁目 八幡ビル内三階	五三二五五九〇	
椎野瑞城	大和陽心流瑞城会	八万町大坪一三八	六八二〇〇二九	
田村梅晃	小唄白扇会	南佐古一番町四一〇	五三二七七八	
中田昇鶴	財団法人阿波人形 浄瑠璃振興会	佐古一番町一五の六	五二一九六七	
林秀懂	上田流竹龍会	板野郡北島町太郎八須外開二五四	九八二六〇四	
浜井弘保	竹保流尺八徳島県支部	徳島市南昭和町四丁目七六一六	五四一六〇七〇	
浜野山	徳島流尺八楽会	海部郡日和佐町日和佐浦一九〇	海部七一一四八〇	
堀小勇政	堀流小唄白糸会	徳島市山城町東浜傍示二八八八〇	二三一六五一〇	
榊本眉風	琴古流尺八美風会	下助任町四丁目一四	五三二三九五二	
松永和登	かりがね会	応神町吉成字有天四四一	四一三〇一一	
宮岡和光	和光流東山吟詠会	北常三島町二二三	二三一〇〇六四	
望月太意子	鳴物鼓生会	中昭和町四丁目六六	五二一六六七二	
林清宏	清宏会	勝占町外敷地一丁目	六九一二二〇二	
八木瑞堂	揚心流日本朗詠会	徳島町城内六八八	五二一五五五九	
吉田鶯風	吟詠鶯風流	八万町下福万一一六	六八二四四五一	
岩崎瑞峰	神伝心流瑞峰会	中前川町四丁目	二五二五五五五	
秋野鳴山	都山流尺八楽会	小松島市小松島町三条通り	小松島二一〇九五	
佐藤泉	哲泉流日本吟詠学会 脇町支部	美馬郡脇町猪尻	脇町二一〇四四一	

鉄分は女性の味方です。



からだにやさしい、ひとくちタイプの
ヘルシーゼリー。

鉄分がさわやかな梅のおいしさと
ナイスブレンドされました。

明治乳業のFe梅ゼリーは、鉄分を梅肉とともに特殊な製法によりゼリー状にした、風味豊かな保健食品です。これ1つぶには、鉄分が約4mg、ビタミンCが約18mg含まれ、エネルギーは1つぶあたり約16kcalです。鉄分を食品のカタチでおいしく手軽に摂取するのに最適です。ヤングレディーからシルバーエイジのみなさままでどなたにもおすすめてできるFe梅ゼリー。健康美のためにもぜひお試しください。

Fe梅 JELLY
Feウメゼリー

●お求めは薬局・薬店・有名デパート食品売場などでどうぞ。